

令和8年度版

事業については
こちらから



区HP



带状疱疹ワクチン 任意接種費用一部助成の ご案内

港区独自事業

法に基づく定期予防接種対象年齢になる前に、早期のワクチン接種で带状疱疹の発症予防を希望する区民の方の経済的な負担を軽減するため、接種費用の一部助成を行っています。港区が発行した任意接種予診票を区内実施医療機関に持参すると、記載された自己負担額で接種できます。

この事業は、本人の意思で接種するかどうかを決める「任意接種」になります。必要に応じて医師とよく相談していただいたうえで、予防接種の必要性や接種の有無をご判断ください。



問合せ 予防接種予診票コールセンター  03-6400-0094

港区 みなと保健所  03-6400-0081
保健予防課 保健予防係 FAX 03-3455-4460



任意接種助成制度は**定期予防接種対象年齢の方以外の接種費用の一部助成**の制度です。公費負担（港区は無料）で接種できる**定期予防接種を希望する方は、任意接種助成制度を使わずに**法に基づく定期予防接種の対象年齢に到達するのを待ってから接種をお願いいたします。

01 対象者

①～③のいずれかに該当する方で**带状疱疹ワクチン任意接種を希望する方**
18歳以上50歳未満の区民で疾病または治療により、

- ① 免疫不全である方
- ② 免疫機能が低下した、または低下する可能性がある方

③ 50歳以上の区民(定期予防接種対象者を除く)で任意による接種を希望する方
※①・②に該当する方は、**組換えワクチンのみ**助成します。

02 自己負担額

生ワクチン 2,000円(生活保護受給者等は免除)

組換えワクチン 1回あたり7,000円(生活保護受給者等は免除)

区内実施医療機関に予診票をお持ちいただくと上記の金額で接種できます。

03 助成期間

令和9年3月31日まで

組換えワクチンを接種する場合、2回目接種の助成期間は1回目の接種から6か月後の同日までです。決められた期間内に接種できない場合は助成対象外となります。

助成期間外で接種した場合、接種費用は全額ご自身の負担となります。

また、助成対象外の接種は健康被害が生じても救済の対象になりません。

※3月31日までに接種できなかった場合は、翌年度速やかにみなと保健所へ予診票の再発行依頼をしてください。ただし、組換えワクチン2回目の予診票を希望の場合で、1回目の接種から6か月を経過することが明らかなきや、すでに接種が完了していることが確認できた場合は再発行することができません。

04 助成回数

生ワクチン 1回

組換えワクチン 2回(接種間隔は以下のとおりです)

2回目の接種は、1回目の接種から2か月の間隔をおいて行います。

1回目の接種から2か月を超えた場合であっても、6か月後の同日までに行います。

※ただし、疾病又は治療により免疫不全である方、免疫機能が低下した方又は免疫機能が低下する可能性がある方については、医師が早期の接種が必要と判断した場合、1回目の接種から2回目の接種までの間隔を1か月まで短縮できます。

注意事項

1 带状疱疹の症状について

带状疱疹は、過去に水痘(みずぼうそう)にかかった時に体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化*することにより、神経支配領域に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水疱が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後も痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。加齢がリスクとされ、50歳代以降で罹患率が高くなり、ピークは70歳代と報告されています。

*再帰感染といい、一般に、初感染と比較して感染力が低いとされています。

2 带状疱疹ワクチンの安全性

ワクチンを接種後に副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンについては、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

3 他のワクチンとの同時接種・接種間隔

いずれの带状疱疹ワクチンについても、医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能です。

ただし、生ワクチンについては、他の生ワクチンと27日以上の間隔を置いて接種してください。

05 実施場所

区内実施医療機関(事前予約制)

※区内実施医療機関以外で接種する場合は助成を受けられません。

※医療機関ごとに取り扱われるワクチンが異なります。



医療機関一覧

入院中などで区内実施医療機関で接種することができない

【01】対象者①②に該当する18歳以上50歳未満の区民の方へ

本助成制度は、原則区内実施医療機関で接種していただく制度ですが、疾病治療のため入院中などで区内実施医療機関以外の医療機関の主治医立会いのもと組換えワクチンを接種する必要がある場合は、接種前にみなと保健所へご連絡・ご申請をいただくことで接種費用の還付請求(上限額あり)のご案内をいたします。事前申請のない方の還付請求の制度はありません。

- 港区民であることがわかる書類(マイナンバーカード、運転免許証等)
- 带状疱疹ワクチン任意接種予診票

06 持参するもの

07 定期予防接種



要確認

下記の方は令和8年度に法に基づく定期予防接種対象年齢となる方です。

全額公費負担(無料)で接種できますので、この任意接種費用一部助成制度は使わないでください。

定期予防接種の対象の方には、個別にご案内を送付しています。

- 令和8年度に以下の年齢になる人
 - 65歳:昭和36年4月2日～昭和37年4月1日生まれの人
 - 70歳:昭和31年4月2日～昭和32年4月1日生まれの人
 - 75歳:昭和26年4月2日～昭和27年4月1日生まれの人
 - 80歳:昭和21年4月2日～昭和22年4月1日生まれの人
 - 85歳:昭和16年4月2日～昭和17年4月1日生まれの人
 - 90歳:昭和11年4月2日～昭和12年4月1日生まれの人
 - 95歳:昭和6年4月2日～昭和7年4月1日生まれの人
 - 100歳:大正15年4月2日～昭和2年4月1日生まれの人
- 接種日現在、60歳から65歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に重い障害(身体障害者手帳1級)のある人

※65歳を超える方については、5年間の経過措置として、5歳年齢ごと(70、75、80、85、90、95、100歳)の年齢になる方が対象です。

4 接種にあたって

予防接種の実施においては、体調の良い日に行うことが原則です。健康状態が良好でない場合には、かかりつけ医等に相談の上、接種するか否かを決めてください。接種の判断を行うに際し、注意が必要な場合があります。「08予防接種の特徴と副反応について」をご確認ください。

- また、以下の状態の場合には予防接種を受けることができません。
- ①明らかに発熱(通常37.5℃以上をいいます)がある場合
 - ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
 - ③受けるべき予防接種の接種液の成分によりアナフィラキシーを起こしたことがある場合
 - ④明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する場合及び免疫抑制をきたす治療を受けている場合(生ワクチンのみ)
 - ⑤現在、妊娠している場合(生ワクチンのみ)
 - ⑥その他、医師が不適当な状態と判断した場合

5 接種を受けた後について

ワクチンの接種後30分程度は安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。注射した部分は清潔に保つようにしてください。接種当日の入浴は問題ありません。当日の激しい運動は控えるようにしてください。

6 女性の方へ

妊娠している人又はその可能性がある人は、生ワクチン予防接種不相当者として接種することができませんので、出産後又は妊娠していないことが確認された後、適当な時期に接種を受けてください。接種にあたっては、接種を受ける医師へご相談ください。なお、接種後2か月間は、妊娠を避けることが必要です。

08 予防接種の特徴と副反応について

带状疱疹ワクチンには生ワクチン、組換えワクチンの2種類があり、接種回数や接種方法、接種スケジュール、接種条件、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも、带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

	生ワクチン (乾燥弱毒生水痘ワクチン) 販売名:ビケン(阪大微研)	組換えワクチン (乾燥組換え带状疱疹ワクチン) 販売名:シングリックス(GSK社)																																																												
接種回数 (接種方法)	1回(皮下に接種)	2回(筋肉内に接種)																																																												
ワクチンの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ● 発症予防効果が中程度 ● 带状疱疹後神経痛の予防効果が中程度 ● 長期予防効果が低い ● 副反応の発現率が低い ● 基礎疾患等により打てない場合がある ● 接種料が安価で、1回接種のみ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 発症予防効果が非常に高い ● 带状疱疹後神経痛の予防効果が非常に高い ● 発症を長期に予防する ● 副反応の発現率が高い:注射部位の腫れや赤み、発熱や頭痛などの発現頻度が多い ● 接種料が高価で、(2か月後から6か月以内に)2回接種が必要 																																																												
带状疱疹に対するワクチンの効果	接種後1年時点 ▶ 6割程度の予防効果 接種後5年時点 ▶ 4割程度の予防効果 接種後10年時点 ▶ - 合併症の一つである、带状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で6割程度	接種後1年時点 ▶ 9割以上の予防効果 接種後5年時点 ▶ 9割程度の予防効果 接種後10年時点 ▶ 7割程度の予防効果 合併症の一つである、带状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で9割以上																																																												
接種要注意者 接種にあたっては主治医に相談してください。 ★注意事項4「接種にあたって」に記載された①～⑥に該当する方は接種できません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する場合 ● 過去に予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった場合 ● 過去にけいれんを起こしたことがある場合 ● 過去に免疫不全と診断されている方や、近親者に先天性免疫不全症の方がいる場合 ● 免疫力が落ちている場合 ● 輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後3か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後6か月以上置いて接種 ● 妊娠が可能な女性においては、注意事項6「女性の方へ」を確認してください。 <u>化学療法やステロイドなど免疫を抑える治療をしている方は接種できません。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている場合 ● 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する場合 ● 過去に予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった場合 ● 過去にけいれんを起こしたことがある場合 ● 免疫不全と診断されている方や、近親者に先天性免疫不全症の方がいる場合 ● 妊婦・授乳婦 																																																												
副反応の発生頻度	<table border="0"> <tr> <td>注射部位</td> <td>赤み・かゆみ</td> <td>20%以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>熱感・腫れ・疼痛・硬結</td> <td>10%以上</td> </tr> <tr> <td>皮膚</td> <td>発疹</td> <td>1-5%未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>紅斑、そう痒</td> <td>1%未満</td> </tr> <tr> <td>筋・骨格系</td> <td>関節痛、筋骨格痛</td> <td>1%未満</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>倦怠感</td> <td>1-5%未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>動悸、疼痛</td> <td>1%未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小脳性運動失調</td> <td>頻度不明</td> </tr> </table> <p>※副反応は一般的に体の中で強い免疫をつくろうとするために起こると言われており、3-7日以内に多くの副反応は弱くなります。7日を超えて副反応が強い場合、医師に相談してください。</p>	注射部位	赤み・かゆみ	20%以上		熱感・腫れ・疼痛・硬結	10%以上	皮膚	発疹	1-5%未満		紅斑、そう痒	1%未満	筋・骨格系	関節痛、筋骨格痛	1%未満	その他	倦怠感	1-5%未満		動悸、疼痛	1%未満		小脳性運動失調	頻度不明	<table border="0"> <tr> <td>注射部位</td> <td>疼痛・赤み・腫れ</td> <td>20%以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>かゆみ</td> <td>1-10%未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>注射部位反応・発疹等</td> <td>1%未満</td> </tr> <tr> <td>消化器</td> <td>吐き気・下痢・腹痛</td> <td>10%以上</td> </tr> <tr> <td>精神神経系</td> <td>頭痛</td> <td>20%以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>めまい・不眠症・眠気等</td> <td>1%未満</td> </tr> <tr> <td>筋・骨格系</td> <td>筋肉痛</td> <td>30%以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>関節痛・背部痛・首の痛み</td> <td>1%未満</td> </tr> <tr> <td>感染症</td> <td>インフルエンザ・鼻咽頭炎</td> <td>1%未満</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>疲労・悪寒・発熱</td> <td>10%以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>倦怠感・痛み</td> <td>1-10%未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無力症・食欲不振等</td> <td>1%未満</td> </tr> </table>	注射部位	疼痛・赤み・腫れ	20%以上		かゆみ	1-10%未満		注射部位反応・発疹等	1%未満	消化器	吐き気・下痢・腹痛	10%以上	精神神経系	頭痛	20%以上		めまい・不眠症・眠気等	1%未満	筋・骨格系	筋肉痛	30%以上		関節痛・背部痛・首の痛み	1%未満	感染症	インフルエンザ・鼻咽頭炎	1%未満	その他	疲労・悪寒・発熱	10%以上		倦怠感・痛み	1-10%未満		無力症・食欲不振等	1%未満
注射部位	赤み・かゆみ	20%以上																																																												
	熱感・腫れ・疼痛・硬結	10%以上																																																												
皮膚	発疹	1-5%未満																																																												
	紅斑、そう痒	1%未満																																																												
筋・骨格系	関節痛、筋骨格痛	1%未満																																																												
その他	倦怠感	1-5%未満																																																												
	動悸、疼痛	1%未満																																																												
	小脳性運動失調	頻度不明																																																												
注射部位	疼痛・赤み・腫れ	20%以上																																																												
	かゆみ	1-10%未満																																																												
	注射部位反応・発疹等	1%未満																																																												
消化器	吐き気・下痢・腹痛	10%以上																																																												
精神神経系	頭痛	20%以上																																																												
	めまい・不眠症・眠気等	1%未満																																																												
筋・骨格系	筋肉痛	30%以上																																																												
	関節痛・背部痛・首の痛み	1%未満																																																												
感染症	インフルエンザ・鼻咽頭炎	1%未満																																																												
その他	疲労・悪寒・発熱	10%以上																																																												
	倦怠感・痛み	1-10%未満																																																												
	無力症・食欲不振等	1%未満																																																												

出典 ▶ 生ワクチン(乾燥弱毒生水痘ワクチン)添付文書2025年12月改定(第6版)
組換えワクチン(乾燥組換え带状疱疹ワクチン)添付文書2025年10月改定(第5版)

予防接種による健康被害救済制度

予防接種は感染症を防ぐために重要なものですが、極めてまれに健康被害の発生がみられます。この制度は予防接種法に基づく予防接種ではないため、接種後に副反応による入院、生活に支障が出るような障害を残す等の健康被害が生じ、医療費等の給付の請求を独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)に行い、PMDAが給付の支給を決定した場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法と特別区自治体総合賠償責任保険制度に基づいた救済の対象になります。

同じワクチンでも、法に基づく定期予防接種として接種した際に生じた健康被害救済制度とは補償の内容が異なります。